

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

学校名	鳥栖市立鳥栖北小学校		
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上対策においては、「自分の思いをもつ、伝える」活動を仕組みながら校内研究とうまくリンクができ推進できた。</li> <li>・「子どもファースト」の授業づくりを意識する教師が増えた。また、子どもが安心して学級で過ごすことができる割合がとて高い。今年度も、継続して取り組んでいきたい。</li> <li>・いじめの早期発見、早期対応においては、一人で抱え込まず、「報告・連絡・相談」がしやすい雰囲気ができており、管理職を含めた組織的な対応ができた。</li> <li>・今年度は本校は開校70周年記念事業を予定している。児童の思いを大切にしながら、展開していきたい。</li> </ul>		
2 学校教育目標	豊かな心を持ち、個性に富み、たくましく生きる児童の育成		
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもの心を鍛える</li> <li>②子どもの学びを鍛える</li> <li>③子どもの体を鍛える</li> <li>④教師力を磨く</li> <li>⑤共に育てる</li> </ul>		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
●学力の向上	<p>○「自分の思いをもち、自分なりの方法で伝えることができる児童の育成」を目指した授業実践と研究授業の実施</p>	<p>・「自分の思いをもち、自分なりの方法で伝えることができる」「自分の思いをもち、自分なりの方法で伝えることは大切なことだ」と肯定的な回答をする児童の割合が80%以上。 ・国語科・算数科それぞれの単元テストの思考・判断・表現力における年間平均到達度が80%以上。</p>	<p>・主体的に学習に取り組むことができるよう、自分の考えをもち、それを話したり書いたりして表現できる場面を多く取り入れた授業を展開する。</p>
	○読書活動の推進	<p>・読書量平均一人 70冊以上(低学年) 60冊以上(中学年) 50冊以上(高学年)</p>	<p>・図書委員会による図書祭りや各学年のおすすめの本を提示するなど児童への啓発活動を進める。 ・読書週間を設け、読書に親しむ期間を設ける。</p>
●心の教育	<p>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</p> <p>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</p> <p>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。</p> <p>○「笑顔であいさつ」「笑顔でありがとう」が言える児童の育成</p>	<p>・道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒70%以上</p> <p>・いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上</p> <p>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童生徒80%以上</p> <p>・あいさつに関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上</p>	<p>・学級づくりや道徳科の授業づくりに関する情報共有等を行う。 ・友達のよさ見つけの実践を行う。</p> <p>・いじめの定義について研修を行う。 ・毎月10日の「鳥栖市いじめ・命を考える日」になかよしアンケートを行い、即日確認するとともに、チームで迅速に対応する。</p> <p>・児童が夢や目標をもつことができるような授業実践を行うとともに、実践についての情報を共有する。 ・キャリアパスポートを活用し、活動の見通しとふり返りを一体化して児童に意識させることで、児童が自己の成長に気付けるようにする。</p> <p>・生活委員会を中心に、朝のあいさつ運動を行う。 ・各学級において、あいさつの指導を継続して行う。</p>
●健康・体づくり	<p>①「望ましい生活習慣の形成」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ③「安全に関する資質・能力の育成」</p> <p>○運動習慣の改善や定着化を目指した教育活動</p>	<p>①早寝早起きをしている児童90%以上を維持する。 ②「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 ③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする</p> <p>運動やスポーツが好きだと感じている児童生徒90%以上</p>	<p>・各学級において、「早寝・早起き・朝ご飯」の大切さについて伝え、学ぶ場を作る。また、継続できているかの振り返りも定期的に行う。 ・生活リズムアップ習慣を設け、学校・家庭の両面から、朝ご飯を食べて登校する習慣を意識させる。 ・交通安全教室を実施し交通ルールについて改めて遵守する大切さを意識させる。</p> <p>・週に1回以上各学級でレクリエーションの日を設定し、運動する機会を増やすようにする。 ・全校児童を対象としたスポーツ大会を実施し、運動を楽しく感じるような取り組みをする。</p>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<p>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</p> <p>○ICT機器の活用</p>	<p>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間(45時間/月)の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、年次休暇の取得日数が14日以上の職員が80%以上。</p> <p>○ICT機器を授業や業務に活用できている職員の割合80%以上</p>	<p>・業務記録により勤務時間の意識化を図る。 ・定時退勤日を設定し、確実に実行する。 ・業務の精選を行う。 ・業務を計画的に進めるよう毎日施錠時刻の30分前に職員への呼び掛けを行う。</p> <p>・各種業務の文書のデータベースをつくり、活用できるように整備する。 ・ICT機器(PC、タブレット)を授業や業務に効率的に活用する。</p>
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○通常学級と特別支援学級で連携した交流および共同学習の実施率100%。 ○特別支援に関する専門性と意識が向上した教員80%以上。	<p>・障害理解や通常学級での特別支援に関する研修会を行い、専門性の向上を図る。 ・保護者と合意形成のもと個別の支援計画を作成し、合理的配慮を実施する。 ・個のニーズに応じた交流および共同教育の実践を行う。</p>
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
○小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実		○教科「日本語」の実践内容や児童の感想等を、学級通信等で学期に1回以上伝える。
○学習・生活への意欲の充実	○「子どもファースト」を意識した授業づくりと学級経営 ○自分で考え、正しく行動する児童の育成		○意識的に子どもが主体となる授業を行った」と回答した教師の割合90%以上。 ○「学級の問題について、自分たちで話し合っ解決したり、よくしたりすることが好きである」と答える児童が80%以上。 ・子どもが主体的に活動する場面を設定した授業づくりを行う。 ・学級会をはじめとした児童主体の話し合いを学級経営に生かす。
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育			